「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づく情報提供

令和４年

アーツ サウンド ビジュアル専門学校

Ⅰ 学校の概要・目標及び計画

（１）建学の精神

「美しい心と技術の調和」

（２）教育目標

１．教養高く、知識、技能に優れ、次の世代を担う社会人の養成

２．科学的知識に加えて、自らの創意工夫により技術や感覚を養う能力の育成

３．お互いに尊重しながら、同じ目標に向かって努力する力の育成

（３）校訓

３Ｈの法則（バランスの取れた３つのＨを備えた人材の育成）

Heart :「ホスピタリティマインド、コミュニケーション能力、チームワーク」まごころ

Hand :「安全、正確、スピーディ」所作

Head :「教養、専門知識、ビジネス感覚」知識

（４）理事長及び校長名、所在地、連絡先等

学校法人群馬県美容学園　理事長　松本　一郎

アーツ サウンド ビジュアル専門学校　校長　町田　仁一

〒371-0006　群馬県前橋市石関町 136-1

TEL:027-225-5011　FAX:027-225-5012

E-Mail:asvcoll@gunbi.ac.jp

URL: http://www.asvcoll-ac.jp/

（５）学園、学校の沿革

昭和２９年　財団法人　群馬県高等理容美容学校設立認可

昭和３３年　財団法人　群馬県高等美容学校設立認可

各種学校群馬県知事認可

財団法人　群馬県高等美容学校厚生大臣指定認可

【定員　昼間 100 名　通信 200 名】

昭和４２年　財団法人　群馬県高等美容学校厚生大臣定員指定

【定員　昼間 200 名　通信 400 名】

昭和５６年　財団法人　群馬県美容高等専修学校設置　群馬県知事認可

【定員　美容高等課程 200 名　別科 400 名】

平成　９年　学校法人群馬県美容学園設立

平成１０年　群馬県美容専門学校　群馬県知事認可
【定員　美容専門課程 400 名　別科 240 名】
厚生大臣指定養成課程及び定員指定
【定員　昼間課程 400 名　通信課程 240 名】
平成１１年　群馬県美容専門学校　現在地に新校舎移転
平成２０年　群馬県美容専門学校　新学科設置
トータルビューティー科　【定員　女子 120 名】
新学科設置に伴い校舎およびホール増設
平成２２年　群馬ブライダルビジネス専門学校　群馬県知事認可
ブライダルスペシャリスト学科設置　【定員　商業実務専門課程 80 名】
平成２３年　群馬県美容専門学校　新学科設置
ビューティースタイリスト学科　【定員　男女 60 名】
エステティック学科　【定員　女子 60 名】
平成２８年　群馬県美容専門学校　新学科設置
ビューティテクニカル学科　【定員　男女 40 名】
平成２８年　アーツ サウンド ビジュアル専門学校　群馬県知事認可
文化･教養専門課程　舞台音響照明学科　【定員　男女 40 名】
ビジュアル・サウンド学科　【定員　男女 40 名】
ライブ･イベント学科　【定員　男女 40 名】
平成２９年　群馬県美容専門学校　新学科設置
サスーン スクールシップ ヘアスタイリスト学科　【定員　男女 80 名】
群馬ブライダルビジネス専門学校　新学科設置
ホテル・旅館・リゾート学科　【定員　男女 20 名】
トラベル・ハネムーン学科【定員　男女 20 名】
ブライダルスペシャリスト学科をブライダル・ウエディング学科に名称変更
【定員　男女 40 名】
アーツ サウンド ビジュアル専門学校　開校
平成３０年　群馬県美容専門学校　新学科設置
理容修得者課程　理容修得者学科　【定員　男女 20 名】
群馬ブライダルビジネス専門学校
ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校に 4 月校名変更
平成３１年/令和元年
ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校　移転
ブライダル・ウエディング学科をウェディングプランナー学科に名称変更
新学科設置　葬祭ディレクター学科【定員　男女 20 名】
アーツ サウンド ビジュアル専門学校
ASV ライブハウス＆シューティングスタジオ新設
令和２年　ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校　新学科設置
ウェディングスタイリスト学科　【定員　男女 20 名】
令和３年　ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校

ウェディングプランナー学科をホスピタリティマネジメント学科に名称変更
【定員　男女 80 名】

令和４年　　アーツ サウンド ビジュアル専門学校
舞台音響照明学科をエンターテインメント学科に名称変更【定員　男女 80 名】

Ⅱ各学科等の教育

（１）学科名、入学定員数、入学者数、在学総数

R4.5.1 現在

学科名	入学定員	入学者数	在学総数
(新)エンターテインメント学科 (旧)舞台音響照明学科	20 名	27 名	49 名
ビジュアル・ムービークリエイター学科	10 名	―	6 名
ライブ・イベントプランナー学科	10 名	―	5 名

※2022 年度より舞台音響照明学科がエンターテインメント学科へ名称変更（学年進行)。ビジュアル・ムービークリエイター学科・ライブ・イベントプランナー学科はエンターテインメント学科に吸収されコース化となり、2022 年度の卒業生をもって廃止となるため入学者なし。

（２）各学科概要等

各学科の概要につきましては、ホームページのコース紹介や学校パンフレットに記載しておりますので、そちらをご確認くださいませ。

アーツ サウンド ビジュアル専門学校ホームページ（http://www.asvcoll-ac.jp/）

（3）各学科カリキュラム

エンターテインメント学科

舞台音響照明コース（専門課程）

	授業科目	1年次		2年次		総授業時数	総単位数
		授業時数	単位数	授業時数	単位数		
専門科目	舞台機構調整技能理論	６０	4			６０	4
	舞台技術安全理論	６０	4			６０	4
	舞台音響技術概論	６０	4			６０	4
	サウンドレコーディング技術概論	３０	2	３０	2	６０	4
	照明技術概論	６０	4			６０	4
	舞台テレビジョン照明技術者理論	６０	4			６０	4
	舞台テレビジョン照明技術者技能検定試験対策			６０	4	６０	4
	小計	３３０	２２	９０	6	４２０	２８
教養科目	ビジネスマナー	３０	2			３０	2
	キャリアデザイン	３０	2	３０	2	６０	4
	小計	６０	4	３０	2	９０	6
演習・実習科目	舞台機構調整技能実習	６０	2			６０	2
	ステージ演出実習	６０	2	６０	2	１２０	4
	バンドアンサンブル	３０	1	３０	1	６０	2
	PA・サウンドベーシック	６０	2			６０	2
	PA・サウンドアドバンス			６０	2	６０	2
	マルチトラックエフェクト処理	６０	2	６０	2	１２０	4
	舞台テレビジョン照明実習	６０	2	６０	2	１２０	4
	ライティングベーシック	３０	1			３０	1
	ライティングアドバンス			６０	2	６０	2
	ローディー&テクニカルメンテナンス			６０	2	６０	2
	DAW 実習	３０	1	６０	2	９０	3
	デジタルライティングシステム	６０	2	６０	2	１２０	4
	サウンド&ライティングプロダクション			１２０	4	１２０	4
	インターンシップ	６０	2	６０	2	１２０	4
	小計	５１０	１７	６９０	２３	１２００	４０
	合計	９００	４３	８１０	３１	１７１０	７４

エンターテインメント学科

ビジュアル・ムービークリエイターコース（専門課程）

	授業科目	1年次		2年次		総授業時数	総単位数
		授業時数	単位数	授業時数	単位数		
専門科目	舞台機構調整技能理論	６０	4			６０	4
	舞台技術安全理論	６０	4			６０	4
	デザイン概論	３０	2			３０	2
	映像制作論	３０	2	３０	2	６０	4
	CG クリエイター理論Ⅰ・Ⅱ	３０	2	３０	2	６０	4
	映像音響処理技術者理論Ⅰ・Ⅱ	６０	4	３０	2	９０	6
	映像編集理論Ⅰ・Ⅱ	３０	2	３０	2	６０	4
	音響技術理論Ⅰ・Ⅱ	３０	2	３０	2	６０	4
	撮影技術理論	３０	2			３０	2
	小計	３６０	２４	１５０	１０	５１０	３４
教養科目	ビジネスマナー	３０	2			３０	2
	キャリアデザイン	３０	2	３０	2	６０	4
	小計	６０	4	３０	2	９０	6
演習・実習科目	舞台機構調整技能実習	６０	2			６０	2
	ステージ演出実習	６０	2	６０	2	１２０	4
	デジタルデザイン実習Ⅰ・Ⅱ	３０	1	６０	2	９０	3
	２DCG 実習	６０	2	９０	3	１５０	5
	３DCG 実習	６０	2	９０	3	１５０	5
	ロケーション撮影実習Ⅰ・Ⅱ	３０	1	３０	1	６０	2
	映像編集実習Ⅰ・Ⅱ	６０	2	６０	2	１２０	4
	映像機器操作実習Ⅰ・Ⅱ	３０	1	３０	1	６０	2
	映像配信実習Ⅰ・Ⅱ	３０	1	３０	1	６０	2
	映像表現実習			１２０	4	１２０	4
	インターンシップ	６０	2	６０	2	１２０	4
	小計	４８０	１６	６３０	２１	１１１０	３７
	合計	９００	４４	８１０	３３	１７１０	７７

エンターテインメント学科

ライブ・イベントプランナーコース（専門課程）

	授業科目	1年次		2年次		総授業時数	総単位数
		授業時数	単位数	授業時数	単位数		
専門科目	舞台機構調整技能理論	６０	４			６０	４
	舞台技術安全理論	６０	４			６０	４
	イベント基礎概論	９０	６			９０	６
	スポーツイベント概論	３０	２	３０	２	６０	４
	ユニバーサルイベント概論			６０	４	６０	４
	エンターテイメントビジネス論	３０	２	３０	２	６０	４
	イベント企画論	６０	４	６０	４	１２０	８
	ライブイベントビジネス著作権			３０	２	３０	２
	広報・マーケティング概論	３０	２	３０	２	６０	４
	小計	３６０	２４	２４０	１６	６００	４０
教養科目	ビジネスマナー	３０	２			３０	２
	キャリアデザイン	３０	２	３０	２	６０	４
	小計	６０	４	３０	２	９０	６
演習・実習科目	舞台機構調整技能実習	６０	２			６０	２
	ステージ演出実習	６０	２	６０	２	１２０	４
	プランニング実習	９０	３	９０	３	１８０	６
	イベント制作実習	９０	３	９０	３	１８０	６
	台本制作演習	６０	２	６０	２	１２０	４
	プロデューサーゼミ	３０	１	３０	１	６０	２
	プレゼンテーション演習	３０	１	３０	１	６０	２
	イベントマネジメントプロダクション			１２０	４	１２０	４
	インターンシップ	６０	２	６０	２	１２０	４
	小計	４８０	１６	５４０	１８	１０２０	３４
	合計	９００	４４	８１０	３６	１７１０	８０

（４）進級及び卒業要件

【学修評価方法】

学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し５段階の成績評価とし、C 評価以上を合格とする。

S：特に優秀な成績・・・１００～９０点

A：すぐれた成績・・・８９～８０点

B：一応その科目の要求を満たす成績・・・７９～７０点

C：合格と認められる最低の成績・・・６９～６０点

F：不合格・・・５９点以下

全学科とも試験は、以下のとおりとする。

１年次　前期：期末試験　　後期：進級試験

２年次　前期：期末試験　　後期：卒業試験

【進級･卒業要件】

進級時・・・１年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。また、１年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。

卒業時・・・２年次以上在学し、各コースで定める授業科目を履修し、舞台音響照明コースは７４単位以上、ビジュアル・ムービークリエイターコースは７７単位以上、ライブ・イベントプランナーコースは８０単位以上を修得したもの。また、納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。

（５）取得資格

＜エンターテインメント学科＞

コース名	資格・検定
舞台音響照明コース	舞台機構調整技能士 3 級 舞台・テレビジョン照明技術者技能検定 2 級 フルハーネス型安全帯特別教育 玉掛け技能講習 低圧電気取扱業務特別教育 ビジネス能力検定 3 級
ビジュアル・ムービークリエイターコース	舞台機構調整技能士 3 級 映像音響処理技術者資格 ＣＧクリエイター検定（ベーシック） フルハーネス型安全帯特別教育 玉掛け技能講習 低圧電気取扱業務特別教育 ビジネス能力検定 3 級

ライブ・イベントプランナーコース	舞台機構調整技能士 3 級 スポーツイベント検定 ユニバーサルイベント検定 イベント検定（ベーシック） フルハーネス型安全帯特別教育 玉掛け技能講習 低圧電気取扱業務特別教育 ビジネス能力検定 3 級

（6）卒業者数、卒業後の進路

【令和 3 年度卒業生実績】

学科名	卒業者数	就職者数	進学者数	就職進学率
舞台音響照明学科	10 名	10 名	0 名	100%
ビジュアル・ムービークリエイター学科	2 名	2 名	0 名	100%
ライブ・イベントプランナー学科	4 名	4 名	0 名	100%

主な就職先については、ホームページや学校パンフレットに記載しておりますので、そちらをご覧ください。

アーツ サウンド ビジュアル専門学校ホームページ（http://www.asvcoll-ac.jp/school-jobdata.html）

Ⅲ教職員

アーツ サウンド ビジュアル専門学校　　R4.5.1 現在

校長	事務局長	副校長	教務課長	教員(専任)	教員(兼任)	事務員	合計
1 名	1 名	1 名	1 名	2 名	9 名	1 名	16 名

Ⅳキャリア教育・実践的職業教育

（1）キャリア教育への取組状況

1．個別指導

就職担当者と担任により学生一人ひとりと納得できるまで話し合い、将来の方向性を定めていきます。その希望をもとに、各種美容関係企業についての研究や就職に対するサポートを個別に実施していきます。

2．就職対策セミナー

本校のキャリア･サポーターや企業との連携により業界の形態や動向、求められる人材などの情報のレクチャーや、就職活動の流れ、履歴書・エントリーシート作成指導、就職後に必要な技術やマナーなどのアドバイスを行います。

３．インターンシップ

本校では２年次にインターンシップを実施しています。業界の仕事を肌で感じ将来の職業に対する理解を深めます。

（２）実習・実技等の取組状況

本校では、以下の企業と教育連携を行い、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的に指導を行っております。

＜教育連携企業一覧＞

授業科目名	連携企業名	対象学科
舞台機構調整技能実習	株式会社亜聖	エンターテインメント学科

（３）就職支援等の取組状況

１．企業研究や面接指導

学生一人一人の能力を考慮し、企業研究を実施。また、エントリーシート作成、履歴書（志望動機）作成、ＳＰＩ、グループディスカッション、グループ面接、個人面接などの指導を行っている。

２．就職情報の閲覧環境整備

求人票やガイダンス情報、企業パンフレット等の専用スペースを設け、常時閲覧できる環境を整えております。

Ⅴ様々な教育活動・教育環境

（１） 学校行事への取組状況（令和 3 年度実績）

4 月	入学式、ボウリング大会（中止）、ASV フェス 自治会総会、健康診断
5 月	サスーンカットコンテスト校内予選、インターンシップ、ASV フェス
6 月	Hair & bridal show
7 月	舞台機構調整技能士 3 級検定学科試験
8 月	舞台機構調整技能士 3 級検定実技試験 夏休み
9 月	高校生バンドフェス（中止）
10 月	インターンシップ、学園祭（中止）
12 月	クリスマス会
1 月	ASV フェス
3 月	卒業式

（2）課外活動等の状況（令和 3 年度実績）

4 月	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育講習
6 月	玉掛け技能講習会
10 月	群馬テレビ　技術部・番組制作見学（中止）
11 月	ぐんまマラソンボランティア参加（会場スタッフ）
12 月	山人音楽祭〔音楽イベント〕スタッフ参加、
2 月	前橋ダイバー　ライブハウス音響照明設備見学（中止）

Ⅵ学生の生活支援

（1）学生支援への取組状況

1．就職に関する支援

・担任と広報・キャリア部によるサポート体制

・インターンシップを実施

2．その他の支援

・学費など経済的な支援体制として奨学金貸与機関の斡旋

・年１回、健康診断を実施

・アルバイト求人を公開

Ⅶ学生納付金及び修学支援

（1） 学生納付金の取扱

エンターテインメント学科（舞台音響照明コース）

	入学金	授業料	実習費	教育充実費	設備維持費	教材費・諸費	合計
1 年次	100,000 円	600,000 円	200,000 円	50,000 円	300,000 円	102,000 円	1,352,000 円
2 年次		600,000 円	200,000 円	50,000 円	300,000 円	47,000 円	1,197,000 円

エンターテインメント学科（ビジュアル・ムービークリエイターコース）

	入学金	授業料	実習費	教育充実費	設備維持費	教材費・諸費	合計
1 年次	100,000 円	600,000 円	200,000 円	50,000 円	300,000 円	107,000 円	1,357,000 円
2 年次		600,000 円	200,000 円	50,000 円	300,000 円	42,000 円	1,192,000 円

エンターテインメント学科（ライブ・イベントプランナーコース）

	入学金	授業料	実習費	教育充実費	設備維持費	教材費・諸費	合計
1 年次	100,000 円	600,000 円	200,000 円	50,000 円	300,000 円	97,000 円	1,347,000 円
2 年次		600,000 円	200,000 円	50,000 円	300,000 円	42,000 円	1,192,000 円

（2） 修学支援の内容

1．表彰制度

最優秀学生賞、各協会賞など卒業者対象に表彰しています。

2．入学金全額免除制度

本校に入学する者で、本校の定めた条件を満たした者の入学金を全額免除する制度です。

3．ファミリー紹介制度

本校に入学する者で、本校の定めた条件を満たした者の１年次授業料を減額する制度です。

4．新幹線通学支援制度

本校が定める遠隔地から通学した場合、定期代を一定料金補助する制度です。

5．家賃支援制度

本校が定める遠隔地から通学が困難と認められた場合、家賃の一部を補助する制度です。

Ⅷ学園の財務

令和３年度財務諸表

資金収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

（単位：円）

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	258,883,788
手数料収入	2,602,800
補助金収入	8,018,400
付随事業・収益事業収入	435,891
受取利息・配当金収入	411
雑収入	6,682,105
前受金収入	269,923,000
その他の収入	111,075,647
資金収入調整勘定	△ 236,470,238
前年度繰越支払資金	472,003,899
収入の部合計	893,155,703

支出の部	
科目	金額
人件費支出	146,700,339
経費支出	89,897,408
施設関係支出	22,590,480
設備関係支出	513,700
資産運用支出	384,780
その他の支出	100,538,902
資金支出調整勘定	△ 6,564,442
翌年度繰越支払資金	539,094,536
支出の部合計	893,155,703

事業活動収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

（単位：円）

		科目	金額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	258,883,788
		手数料	2,602,800
		経常費等補助金	8,018,400
		付随事業収入	435,891
		雑収入	6,682,105
		教育活動収入計	276,622,984
	事業活動支出の部	人件費	147,085,119
		経費	154,161,838
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	301,246,957
		教育活動収支差額	△ 24,623,973
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	411
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	411
	事業活動支出の部	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	411
		経常収支差額	△ 24,623,562
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0
		その他の特別支出	0
		特別支出計	0
		特別収支差額	0
基本金組入前当年度収支差額			△ 24,623,562
基本金組入額合計			△ 23,104,180
当年度収支差額			△ 47,727,742
前年度繰越収支差額			△ 821,511,252
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			△ 869,238,994
（参考）			
事業活動収入計（旧）帰属収入			276,623,395
事業活動支出計（旧）消費支出			301,246,957

貸借対照表

令和4年3月31日

（単位:円）

資産の部	
科目	金額
固定資産	1,661,953,083
流動資産	552,075,460
資産の部合計	2,214,028,543

負債の部	
科目	金額
固定負債	1,212,640
流動負債	335,003,834
負債の部合計	336,216,474
純資産の部	
科目	金額
基本金	2,747,051,063
繰越収支差額	△ 869,238,994
純資産の部合計	1,877,812,069
負債及び純資産の部合計	2,214,028,543

令和 4 年 6 月 24 日

令和 3 年度
自己点検・自己評価報告書

学校法人群馬県美容学園

群 馬 県 美 容 専 門 学 校

ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校

アーツ サウンド ビジュアル専門学校

Ⅰ.令和3年度　評価項目の達成及び取組状況　報告

適切・・4、ほぼ適切・・3、やや不適切・・2、不適切・・1　／　（ ）内は回答人数

1 教育理念・目標				群馬県美容専門学校			ｳｪﾃﾞｨﾝｸﾞ・ﾎﾃﾙ&ﾂｰﾘｽﾞﾑ専門学校	アーツサウンドビジュアル専門学校		法人部		エビデンス
				サスーン（2）	美容師（5）	BS（2）	ホスピタリティ（3）	舞台音響照明（2）	ビジュアル（2）	広報（2）	事務局（4）	
1	1		理念・目的・人材育成像									
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	寄付行為、学則、学生便覧
1	1	2	学生・保護者に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学校案内、学校ホームページ、学則、学生便覧
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学則、教職員の心得、学生便覧
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学校案内、学校ホームページ
1	2		教育の特色									
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学校ホームページ、学校案内、教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録、学生便覧
1	2	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学校ホームページ、学校案内

●上記学科名を紙面の関係上、「サスーン スクールシップ ヘアスタイリスト学科：サスーン」「美容師学科：美容師」「ビューティスタイリスト学科：BS」
「ホスピタリティマネジメント学科：ホスピタリティ」「舞台音響照明学科：舞台音響照明」「ビジュアル・ムービークリエイター学科：ビジュアル」「広報・キャリア部：広報」と省略表記している。

◆建学の精神

「美しい心と技術の調和」

群馬県美容専門学校

◆教育目標

１．教養高く、知識、技能に優れ、次の世代を担う社会人としての美容技術者の養成

２．科学知識に加えて、自らの創意工夫により技術や感覚を養う能力の育成

３．お互いに尊重しながら、同じ目標に向かって努力する力の育成

◆教育目的

本校は、学校教育法に従い、美容に必要な知識と技能を授けるとともに、豊かな人間性を備えた人材の育成を目的とする。

ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校

◆教育目標

１．教養高く、知識、技能に優れ、次の世代を担う社会人の養成

２．自ら創意工夫する能力の育成

３．お互いに尊重しながら、同じ目標に向かって努力する力の育成

◆教育目的

本校は、学校教育法に従い、冠婚葬祭業、観光業、宿泊業、またこれらを取り巻くサービス業界などに必要な専門知識と実践的な技能を授けるとともに、豊かな人間性を備えた人材の育成を目的とする。

アーツ サウンド ビジュアル専門学校

◆教育目標

１．教養高く、知識、技能に優れ、次の世代を担う社会人の養成

２．自ら創意工夫する能力の育成

３．お互いに尊重しながら、同じ目標に向かって努力する力の育成

◆教育目的

本校は、学校教育法に従い、優れた専門性と豊かな創造性を教育の基本理念とし、文化・芸術・舞台・音響・照明・ビジュアル分野に必要な知識と技能を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。

○課題

（１） ３校における教育の特色をより明確化し、外部へ一層の周知を図る。

○今後の改善方策

（１）あらゆるメディア等を活用し、情報発信を行っていく。

2 学校運営				サスーン（2）	美容師（5）	BS（2）	ホスピタリティ（3）	舞台音響照明（2）	ビジュアル（2）	広報（2）	事務局（4）	エビデンス
2	1		運営方針・事業計画									
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4.0	4.0	4.0	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	理事会議事録、評議員会議事録、学校案内、学校パンフレット
2	1	2	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	事業計画、理事会議事録、評議員会議事録
2	1	3	学校の年間スケジュールはあるか	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	年間行事予定表、学則、学生便覧

2	2		運営組織										
2	2	1	寄附行為に従って理事会・評議員会が開催されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	寄付行為
2	2	2	運営組織や意思決定機関は、規則等において明確化されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	校務分担
2	2	3	職員会議が定期的に開催されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	職員会議議事録
2	2	4	出退勤管理簿があるか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	出勤簿、タイムカード
2	2	5	教職員の健康診断がされているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	健康診断表
2	3		教職員の評価・育成										
2	3	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	履歴書、現況調査票
2	3	2	教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	研修報告書
2	3	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.7	学生アンケート
2	3	4	専任教員は適正に配置されているか	3.5	4.0	4.0	3.7	4.0	4.0	4.0	4.0	教務予定
2	3	5	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4.0	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	研修報告書
2	3	6	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.7	講師交流会
2	4		人事・給与制度										
2	4	1	人事・給与に関する制度を整備しているか	4.0	3.8	4.0	3.7	4.0	4.0	3.5	4.0	教職員給与規定
2	4	2	採用制度は文書化されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	専修学校設置基準、美容師養成施設指定規則
2	5		情報システム										
2	5	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.7	履修簿管理システム

○課題

（1）コロナ禍において非常勤講師との交流会などが行えず、日々の授業後などなかなか時間が取れないのが現在の状況

（2）コロナの影響で研修が中止になり、実技的なものが開催されずレポート形式になってしまった。（着付部門）

（3）2学年で9コースを展開しているが、講師の数が十分とは言い難い。入れるコマ数にも限りがあるため、教務予定を組むことが容易ではない。

（4）データベースで共有できる業務についても、紙媒体でのやり取りを行っているケースがある。

○今後の改善方策

（2）情勢が良くなれば、問題ないと考える。

（3）現在も募集させていただいているが、新しい講師の方をお願いし、科目の振り分けをしていきたい。

（4）一度、データ化やシステム化できるか否かを協議し、業務の効率化を図っていく。

3 教育活動				サスーン（2）	美容師（5）	BS（2）	ホスピタリティ（3）	舞台音響照明（2）	ビジュアル（2）	エビデンス
3	1		目標設定							
3	1	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	シラバス、学生便覧
3	2		教育方法・評価等							
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4.0	4.0	4.0	3.7	4.0	4.0	シラバス、学生便覧
3	2	2	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	シラバス
3	2	3	シラバスが事前に学生に示され、授業で有効活用されているか	3.5	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	シラバス
3	2	4	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	通知表
3	2	5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学生アンケート
3	2	6	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学生アンケート
3	2	7	カリキュラムの作成・見直しのために定期的に外部者関係者の意見を取り入れているか	4.0	4.0	4.0	3.7	4.0	4.0	教育課程編成委員会議事録
3	2	8	関連分野における実践的なインターンシップ等が体系的に位置づけられているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学生便覧
3	2	9	専攻分野に係わる関係分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	情報公開資料(学校ホームページ)
3	3		成績評価・単位認定等							
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学則
3	3	2	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件は提示されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学生便覧

3	4		資格・免許取得の指導体制								
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	シラバス	
3	4	2	資格・免許取得のための指導体制はあるか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	シラバス	

○課題

（1）シラバスを各教室に置いているが、学生が見ている様子が見受けられない。

○今後の改善方策

（1）授業前にシラバスでの内容確認や、授業経過など学生と共有する時間を設ける。

4 学習成果・教育成果				サスーン（2）	美容師（5）	BS（2）	ホスピタリティ（3）	舞台音響照明（2）	ビジュアル（2）	エビデンス
4	1		学習成果							
4	1	1	コース全体を通して学習者の習熟状況を評価しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	通知表
4	1	2	学生の学習成果の評価に際して、評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	採点表
4	2		就職率							
4	2	1	就職率向上のため、就職活動は管理指導されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	就職活動報告書、内定者数一覧
4	2	2	外部に向けた就職実績を公表しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学校案内、学校ホームページ
4	3		資格・免許の取得率							
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	教育課程編成委員会議事録
4	3	2	資格・検定の取得率に対して検証・報告がされたか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学校関係者評価委員会議事録
4	4		卒業生の社会的評価							
4	4	1	卒業後に就職その他の支援を行っているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	

○課題

（1）卒業生に対しての就職に関する支援が不足していると感じる。卒業後の活動状況を定期的にとる必要がある。

○今後の改善方策

（1）定期的に連絡を取り現在の状況を確認することが必要であり、手段を卒業前に準備していく。

5 学生支援				サスーン（2）	美容師（5）	BS（2）	ホスピタリティ（3）	舞台音響照明（2）	ビジュアル（2）	広報（2）	事務局（4）	エビデンス
5	1		修学支援									
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学生便覧
5	2		就職等進路									
5	2	1	就職に関する支援体制は整備されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	4.0	4.0	就職ガイダンス、求人票
5	3		学生相談									
5	3	1	学生相談に対する体制は整備されているか	4.0	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	学生報告書
5	4		学生生活									
5	4	1	奨学金制度など学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学生便覧
5	4	2	学生の健康管理を実施しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	健康診断結果通知
5	5		中途退学への対応									
5	5	1	退学率の低減が図られているか	3.0	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	学校関係者評価委員会議事録
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.5	4.0	
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	4.0	4.0	4.0	3.7	4.0	4.0	3.5	3.7	職員会議議事録
5	5	4	退学者数を公表しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	情報公開資料(学校ホームページ)
5	6		保護者との連携									
5	6	1	保護者からの相談を受け入れているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	面談記録、教務日誌
5	7		卒業生支援									
5	7	1	卒業生への卒業後、教育等の支援体制はあるか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.5	4.0	国家試験対策

○課題

（1）退学率の低減が図られてはいるが、結果として多くの退学者を出してしまった。

（2）様々な状況下の学生に寄り添ったサポート体制を築いていくこと。

（3）退学率の低減については、教職員間において、明確には共有されていない。

○今後の改善方策

（1）各担任だけではなく、全員で学生の状況を把握し学生対応にあたる。

（2）コロナ禍において学生の修学状況も変化しているため、学びを途中であきらめる学生が1人でも減らせるよう、学校側も支援体制を整える。

（3）上記の目標や計画について、教職員間でしっかりと共有できるよう改善する。

○特記事項

（2）学生対応は、できる限りのサポートを行ったが、入学前からの持病や個人の精神的な問題はどうすることもできず、退学者を減らすことが出来なかった。

6 教育環境				サスーン（2）	美容師（5）	BS（2）	ホスピタリティ（3）	舞台音響照明（2）	ビジュアル（2）	広報（2）	事務局（4）	エビデンス
6	1		施設・設備等									
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.5	4.0	3.5	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	学校設置認可申請書、学校平面図
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	図書台帳
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	機材管理リスト、備品管理リスト
6	1	4	分煙・禁煙が掲示されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
6	1	5	学内の清掃に関して管理されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.7	
6	1	6	施設・設備の点検・修繕等は定期的に又は適宜行っているか	4.0	3.8	4.0	4.0	3.5	4.0	4.0	4.0	各種点検報告書
6	2		防災・安全管理									
6	2	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4.0	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	防災マニュアル、消防計画
6	2	2	防災・防犯設備が整備・点検されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	消防用設備等点検結果報告書
6	2	3	定期的に防災訓練を実施しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	避難訓練実施要項

○課題

（1）美容棟の窓ふき清掃は危険なため、普段の清掃時には行うことが出来ない。とても汚れている。

（2）校舎の老朽化も進んでいるため、安全管理を行うことで教育環境を整備していく。

（3）学内の清掃については、ゴミ箱が満杯であったり、埃や髪の毛が落ちていて目につくこともある。

（4）ホール舞台機構設備の修繕

○今後の改善方策

（1）校舎が建設されてから数年は、年に1～2度業者による窓清掃が入っていた。

（2）学生が安全に教育を受けることが出来るように日常的にメンテナンス箇所の確認作業を行う。

（3）気づいたときは、すぐに対応し、いつでも美化を心がけた行動をしていく。

（4）点検は行われているが、修繕が必要な箇所が増えている。

○特記事項

（1）大掃除の時にやろうとも考えているが、高所作業のため恐怖を感じ取り組めていない。

7 学生の受け入れ募集				サスーン（2）	美容師（5）	BS（2）	ホスピタリティ（3）	舞台音響照明（2）	ビジュアル（2）	広報（2）	事務局（4）	エビデンス
7	1		学生募集活動									
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学校案内、募集要項
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し教職員及び学生等に周知し公表しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	募集要項、学校ホームページ
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学校案内、学校ホームページ
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適正に学生募集をおこなっているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	募集要項
7	2		入学選考									
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	募集要項、学校ホームページ
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適正に入学者選抜を行っているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	入試考査表
7	3		学納金									
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	募集要項

7	3	2	学校案内に学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	募集要項

8 教育の内部質保証システム				サスーン（2）	美容師（5）	BS（2）	ホスピタリティ（3）	舞台音響照明（2）	ビジュアル（2）	広報（2）	事務局（4）	エビデンス
8	1		関係法令、設置基準等の遵守									
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	専修学校設置基準
8	1	2	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適正に運用しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	寄付行為、学則
8	2		個人情報保護									
8	2	1	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	特定個人情報取扱規程
8	3		学校評価									
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学校関係者評価委員会議事録
8	3	2	自己点検・評価報告書があるか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	自己点検・評価報告書
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	自己点検評価委員会
8	4		教育情報の公開									
8	4	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	学校ホームページ
8	4	2	自己評価結果及び学校関係者評価結果を公開しているか	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	情報公開資料(学校ホームページ)

9 財務				事務局（4）	エビデンス
9	1		財務基盤		
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務的基盤を確立しているか	3.7	理事会議事録
9	2		予算及び収支計画		
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.0	予算書、理事会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	4.0	予算書
9	3		監査		
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適正に監査を実施し、理事会、評議員に報告しているか	4.0	理事会議事録、評議員会議事録、監査報告書
9	4		財務情報の公開		
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適正に公開しているか	4.0	財務諸表、学校ホームページ
9	4	2	財務情報の公開について、学校ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	4.0	学校ホームページ

○課題

（1）財務の基盤を安定させるため、更なる経費削除に努めること。

○今後の改善方策

（1）意識的に無駄な経費を減らすよう心掛けているが、事業計画に基づいた運営が行われているか、学校全体で改めて再確認し、管理していく。

令和３年度
学校関係者評価委員会報告書

評価対象期間　自：令和３年４月 １日

至：令和４年３月 31 日

評価実施日　　令和４年８月５日(金)

学校法人　群馬県美容学園

群馬県美容専門学校

ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校

アーツ サウンド ビジュアル専門学校

Ⅰ　学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の実施について

本校では、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に対し、「令和３年度自己点検・自己評価」を行いました。その自己点検・評価結果について学校関係者評価委員会が開催され、学校関係者評価委員に第三者の視点で評価して頂きました。学校関係者評価委員会での貴重なご意見や評価を今後の学校運営に反映させ、改善を図ることでより良い教育活動を行って参ります。

2. 学校関係者評価委員名簿

評価委員名	所属及び役職
山形　正喜	関東地区理容師美容師養成施設協議会　会長
富岡　政明	社会保険労務士法人　富岡労務管理事務所　代表社員
奥田　正敏	株式会社トニーズコレクション　営業部マネージャー
小泉　清司	株式会社　ライフシステム　専務取締役
髙崎　利成	一般社団法人　日本音響家協会　理事

3. 学校側出席者名簿

学校教職員	所属及び役職
田上　聖晃	群馬県美容専門学校/ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校/アーツサウンドビジュアル専門学校　副校長
長根　みちお	群馬県美容専門学校　教務課長
大林　理恵	ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校　教務課長
横堀　正樹	アーツ サウンド ビジュアル専門学校　教務課長

4. 学校関係者評価委員会実施状況

開催日：令和４年８月５日（金）14：00～

場　所：オンライン会議

次　第

1）開会の言葉

2）副校長挨拶

3）学校関係者評価委員紹介

4）協議事項

Ⅰ．令和３年度評価項目の達成及び取り組み状況

①教育理念・目標

②学校運営

③教育活動

④学習成果・教育成果
⑤学生支援
⑥教育環境
⑦学生の受入れ募集
⑧教育の内部質保証システム
⑨財務

5）閉会の言葉

Ⅱ　評価報告

Ⅰ．令和３年度評価項目の達成及び取り組み状況

①教育理念・目標

【学校側】

◇建学の精神、教育目標は 3 校とも明確に示されており、目的は 3 校の学則第 1 条により定められている。これらを全教職員が理解し、学生には入学時、学生便覧により周知を図っている。

◇学園 3 校における教育の特色をより明確化し、SNS などを用いて外部へ一層の周知を図る。

【委員意見・評価】

◇全教職員が教育理念、目標を理解していることがうかがえる。

◇各校、各業界の動向やニーズを把握し、企業との連携を含めた職業教育を実践しながら、外部への周知をより一層強化していくことが重要。

②学校運営

【学校側】

◇日々の授業後、非常勤講師との情報交換を行う時間が取れないのが現状。

◇講師の人数が十分とは言い難く、教務予定を組むことが容易ではない。

◇データベースで共有できる業務について、紙媒体でのやり取りを行うケースがある。

【委員意見・評価】

◇コロナ禍において昨年より状況は良くなっているが、まだまだ制限されている部分も多々あり、講師間の情報共有も難しい状況だと感じる。また限られた時間の中で学生に落とし込むということは容易ではない。

◇システム化できる業務か否かを協議し、効率化を図っていけるとよい。

③教育活動

【学校側】

◇各校、国家試験や各検定の合格率について報告。

◇美容師国家試験合格率が 100%となった。

◇各検定とも筆記試験対策が重要となる。

◇シラバスの有効活用を考える必要がある。

【委員意見・評価】

〔群馬県美容専門学校〕

◇検定筆記試験に関して、明らかに勉強している人、していない人がはっきりと分かれている状況が見受けられる。日々の勉強ができない学生に対しての対応が必要となる。
◇美容師国家試験合格率 100%という結果となり、例年の反省点でもあった筆記試験対策が良い結果となったのではないか。
◇日々の対策が必要と考えられるため、今後も早期段階から継続して指導を行う必要がある。

〔ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校〕
【委員意見・評価】
◇学生が受験するには難しい検定もあるが、毎年指導内容の見直しを行いながら合格に向け指導をしてほしい。

〔アーツサウンドビジュアル専門学校〕
【委員意見・評価】
◇入学して間もない１年生が積極的に受験しているのはとても良い傾向。2 年生も全員合格となるよう、引き続き頑張ってほしい。

④学習成果・教育成果

【学校側】
◇3 校共に就職内定率 100%を維持することができた。
◇離職してしまった卒業生に対しての支援が不足していると感じる。定期的に連絡を取り、状況確認をするなど卒業前に手段を確認する必要がある。

【委員意見・評価】
◇学習成果、教育成果については、明確な基準で実施されていると感じる。就職についても学生個々への指導が徹底できていると感じる。
◇卒業生への支援について、全員の状況確認は難しいと感じるが、卒業前に学生に周知し、手段の共有をすることが大切である。

⑤学生支援

【学校側】
◇各校、退学率について報告。
◇退学率の低減が図られてはいるが、結果として多くの退学者を出してしまった。
◇学生対応ではできる限りのサポートを行ったが、入学前から続く個人の持病や精神的な問題は改善することができず、退学となるケースが多く生じた。

【委員意見・評価】
◇退学率 0 を目標に、さまざまな状況下の学生に寄り添ったサポート体制を築いていく。

コロナ禍において学生の修学状況も変化しているため、学びの途中で諦めてしまう学生が１人でも減らせるように体制を整えることが重要。

⑥教育環境

【学校側】

◇校舎の老朽化も進んでいるため、日々安全管理を行い、教育環境を整備していく。
◇点検は行われているが、修繕が必要な個所が増えている。

【委員意見・評価】

◇学生が安全に教育を受けることができるように、日常的にメンテナンス個所など確認作業を行うことが重要。
◇気付いたときにすぐ対応し、いつでも校内美化を心掛けた行動をしてほしい。

⑦学生の受入れ募集

【学校側】

◇学生募集活動は適切に行われており、オープンキャンパスの実施や校外ガイダンスにも積極的に参加している。しかし入学者数の増加に結び付かない学科、コースもある為、分析が必要と感じる。
◇オープンキャンパスに保護者が同伴するケースが増えている。学生だけではなく保護者への理解も重要視することで、入学者数増加へ繋げていきたいと考える。

【委員意見・評価】

◇適正に学生の受け入れ募集が実施されていると感じる。各学校のアピールポイントを精査し、入学者拡大に努めてもらいたい。
◇学校アピールの際、SNS の活用が重要となっている。各媒体により利用者の特徴も異なる為、さまざまな層に対し頻繁に発信していくことが重要だと感じる。

⑧教育の内部質保証システム

【学校側】

◇本学園は専修学校設置基準及び、各種法令を遵守し学校運営が適正に行われている。また法令の改正等が行われた場合には素早く対応している。自己点検や評価についてもホームページ上で適正な公表を行っている。

【委員意見・評価】

◇教育の内部質保証システムに関しての教職員の理解が感じられる。今後も適正な学校評価、情報公開を行い、内部質保証体制を維持してほしい。

⑨財務

【学校側】
◇教育活動を安定して遂行するために必要な財務基盤を安定させるため、意識的に無駄な経費を減らすよう心掛けている。今後更なる経費削減に努めることが重要と考える。
【委員意見・評価】
◇事業計画に基づいた運営がおこなわれているか、学校全体で再確認し、管理していく。

学校関係者委員　総括
【委員意見総評】
◇コロナ禍を不景気と捉えるのではなく景気と捉え、新しい取り組みを積極的に行うことが重要だと考える。各企業と連携し、各業界の動向を見ながら入学促進に繋がるカリキュラム編成の構築や募集活動を展開していくことが大切である。
◇今後の時代がどのように流れるか予想がつかないが、その時々の対応力が重要となる。厳しい状況が続くとは思うが、業界も共に頑張っていきたい。
◇資格取得に向けた技術、知識習得については良く訓練されていると思うが、社会に出てから必要な基礎知識についての指導が大切。挨拶の重要性や声を大きく出して自己表現をすることなど、今後も訓練を続けてほしい。